

# 愛媛大と松山大 連携の成果報告

## 2年間5事業

愛媛大と松山大の連携事業成果報告会が2日、松山市文京町の松山大であった。2014～15年度実施の5事業の報告があり、両大の教職員や学生ら約100人が耳を傾けた。

松山大学法学部の甲斐朋香准教授と愛媛大女性未来育成センターの郡司島宏美特命准教授は、地域の創造性



2年間の取り組みを紹介した愛媛大と松山大の連携事業成果報告会―2日午後、松山市文京町の松山大

や多様性を育むため開いたアートイベントを報告した。

参加した愛媛大農学部3年山本菜摘さん(20)と松山大薬学部OBの中矢貴久さん(35)が、内子町で開催した水車の動力による音楽演奏イベントなどを紹介。山本さんは「地元から想像以上の反応があった。住民とのつながりをさらに広げるため、継続的に活動したい」と語った。

学生のキャリア意識醸成に向けた大学間連携や、総合微生物学の研究拠点づくりなどの報告もあった。

両大は10年3月、学生の交流▽単位互換▽教職員の交流▽共同研究の推進▽教育・研究の発展―を柱として交流協定を結び、連携事業を推進している。

(菅亮輔)